

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1年生

障がいのある人とのふれあいやつながりを大切にし、障がいのある人を取り巻く課題の解決をめざすことを目的として、市内の学校、福祉施設に訪れる等、障がいのある人との交流を通じて、共生社会の実現に向け大切なことは何かを考える。

そこで、生徒が下記6つの講座から選択し交流学习を行った。

- ① 三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園
- ② 心身障害者小規模作業所 レモングラス
- ③ 社会福祉法人 名張育成会 名張育成園
- ④ 社会福祉法人 はなの里
- ⑤ 点字・視覚障がい
- ⑥ 手話・聴覚障がい

その後、学習の成果を文化発表会でプレゼンテーションや寸劇にして全校生徒、保護者に紹介した。

2年生

修学旅行で長崎を訪れることにあたり、「平和」をテーマとした人権学習から、戦争や原爆の恐ろしさを知り、平和・人権の尊さを学ぶことを目的として平和学習に取り組んだ。

具体的には、長崎への修学旅行の意義を考え、原子爆弾の恐ろしさや戦争の醜さについて学び、原子爆弾や戦争の恐ろしさを学んだ上で、平和な世界の実現のために自分たちは何をすべきなのかを考えさせた。

事前学習として、地域で活動する団体による平和コンサートにおいて、名張にもあった戦争について知り、この活動をしている人たちの思いを知り、自分たちが修学旅行で長崎を訪れる目的を確認した。

長崎では、ボランティアさんのガイドによる碑巡りや被爆体験講話、平和セレモニーの実施などを行い、平和の大切さについて学習した。その後、文化発表会で、全校生徒や保護者に紹介した。

3年生

実際の職場で仕事を体験し、学校では学べないことを体得することで、自分の将来の職業や進路に対する理解を深める。働くことの厳しさや苦勞、喜びなどを体験する。人との接し方や社会生活における社会規範を学ぶ。また、職場体験を通して、将来の生き方を考え、自分の可能性を発見することを目的として、3日間の62の事業所の協力を得て、職場体験学習に取り組んだ。

生徒は、職場体験学習の取り組みを通して、働くことの大変さや大切さはもちろんのこと、あいさつや社会的なマナーなど人として生活する上で大切なことを再認識した。そして、今後進むべき自分の進路に向けて、自分の適性や能力を見つめ、考えを深めることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）